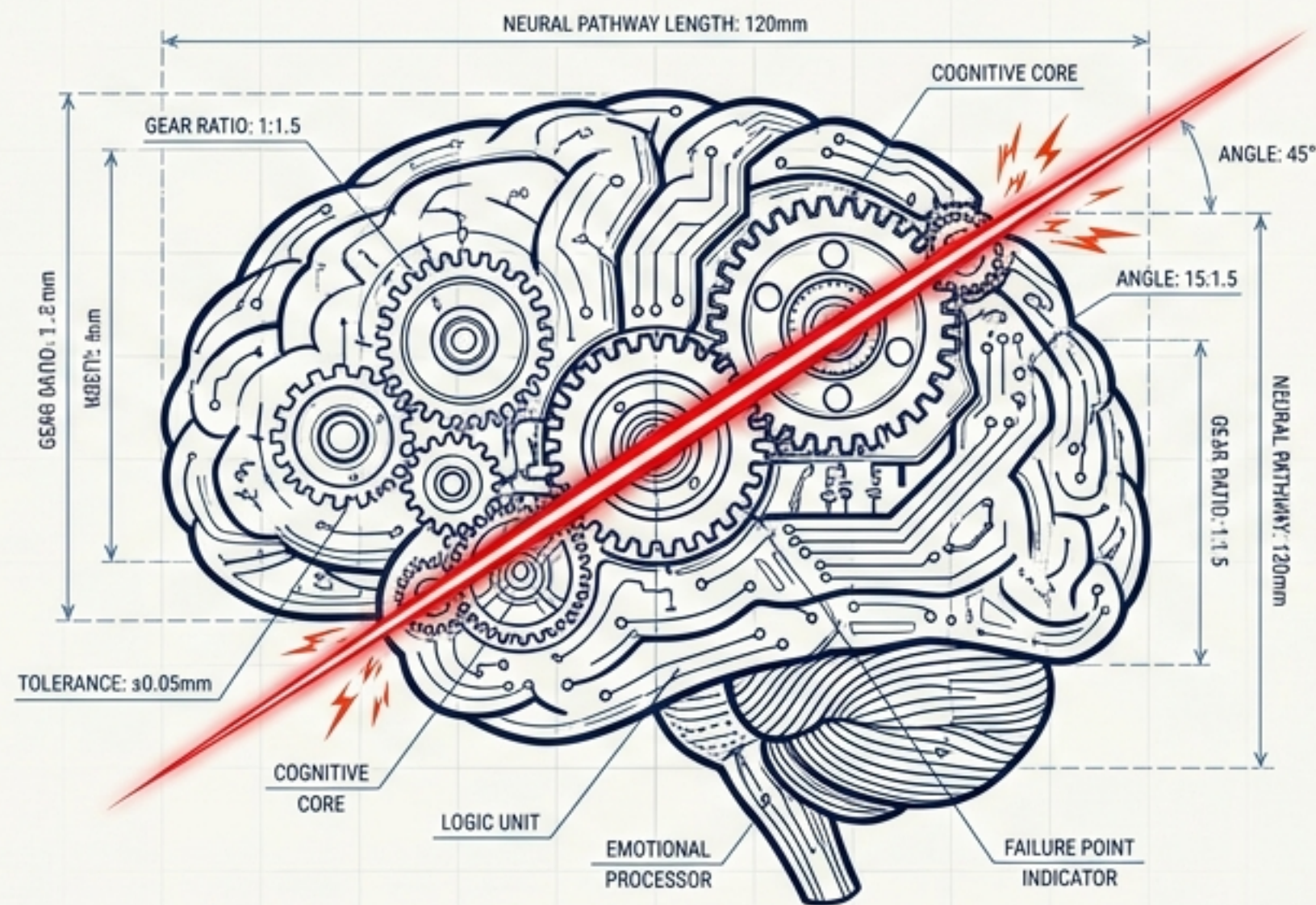


心の主導権を握り返せ!

「醜い合理性」を暴き出す、心の再設計論



表面的な反省を捨て、自らの真相心理をハックせよ。

「心を再設計するには、 自分の真相心理を理解すべし。 行動にも、心にも、必ず“目的”がある」



構造 1

私たちは「なぜ自分はこうなんだ」と悩みます。しかし、表面的な行動だけを叩いても、心はビクともしません。

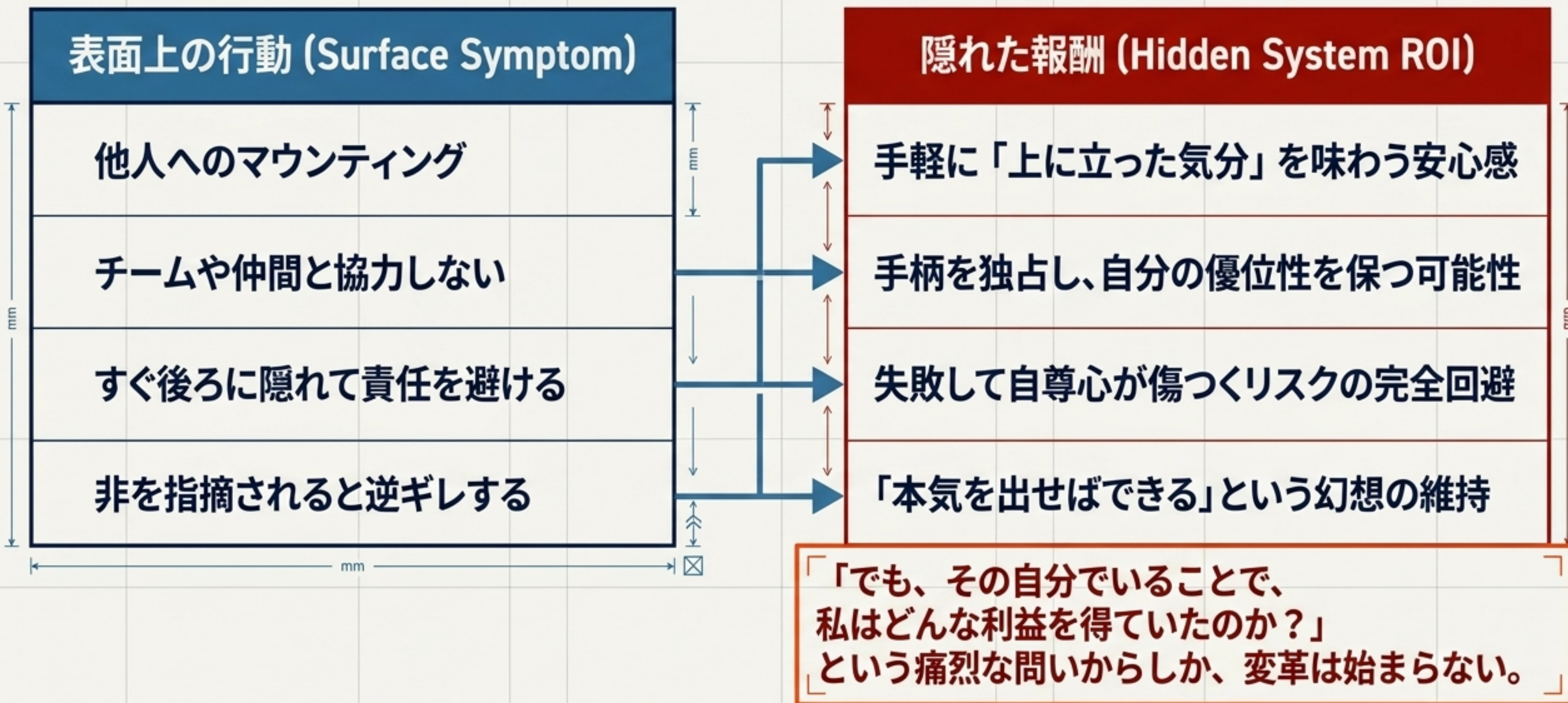
構造 2

人は完全に損しかない行動を続けることはありません。

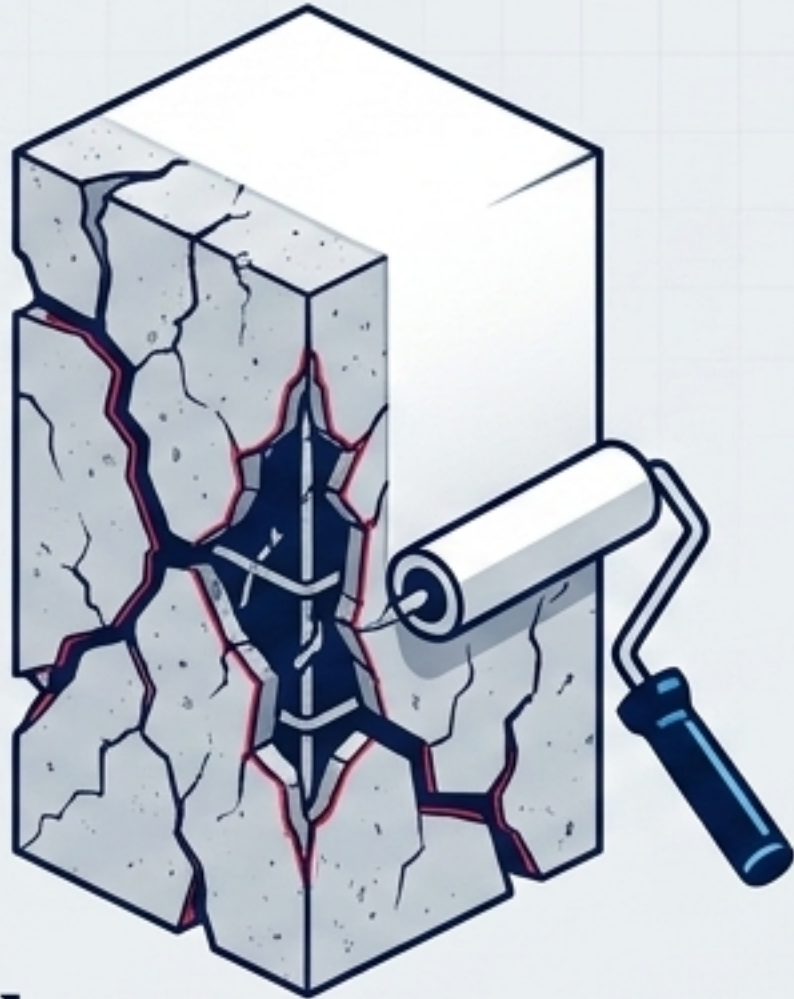
構造 3

あなたの潜在意識は、その歪んだ行動によって強烈な「報酬」を受け取っているのです。

Diagnostic Matrix: 表面上の問題行動と「隠れた報酬」



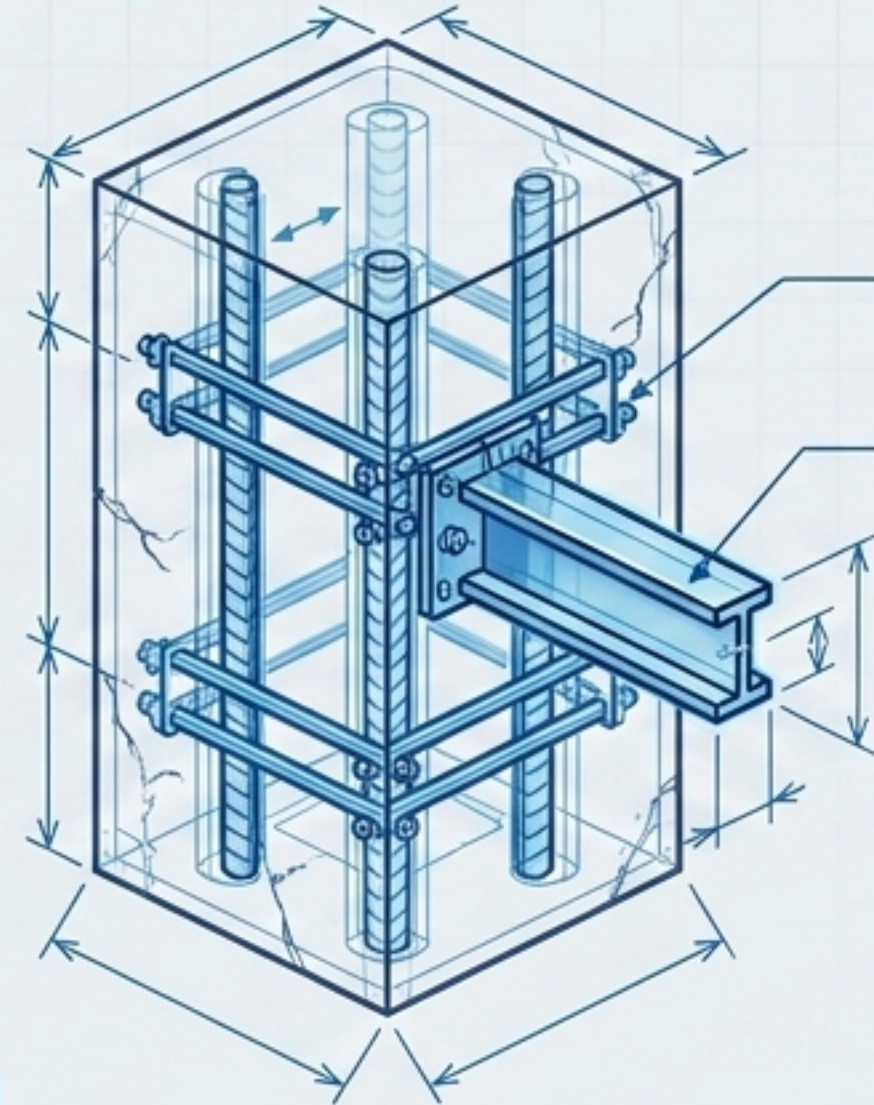
お化粧 - Makeup



【表面的な反省】

- 「次から気をつけます」「謙虚になります」
- 構造が残っている以上、問題は形を変えて潜伏するだけ。
 - ✗ アドバイスを装ったマウンティング
 - ✗ 心配を装ったコントロール
 - ✗ 正論を武器にした自己防衛

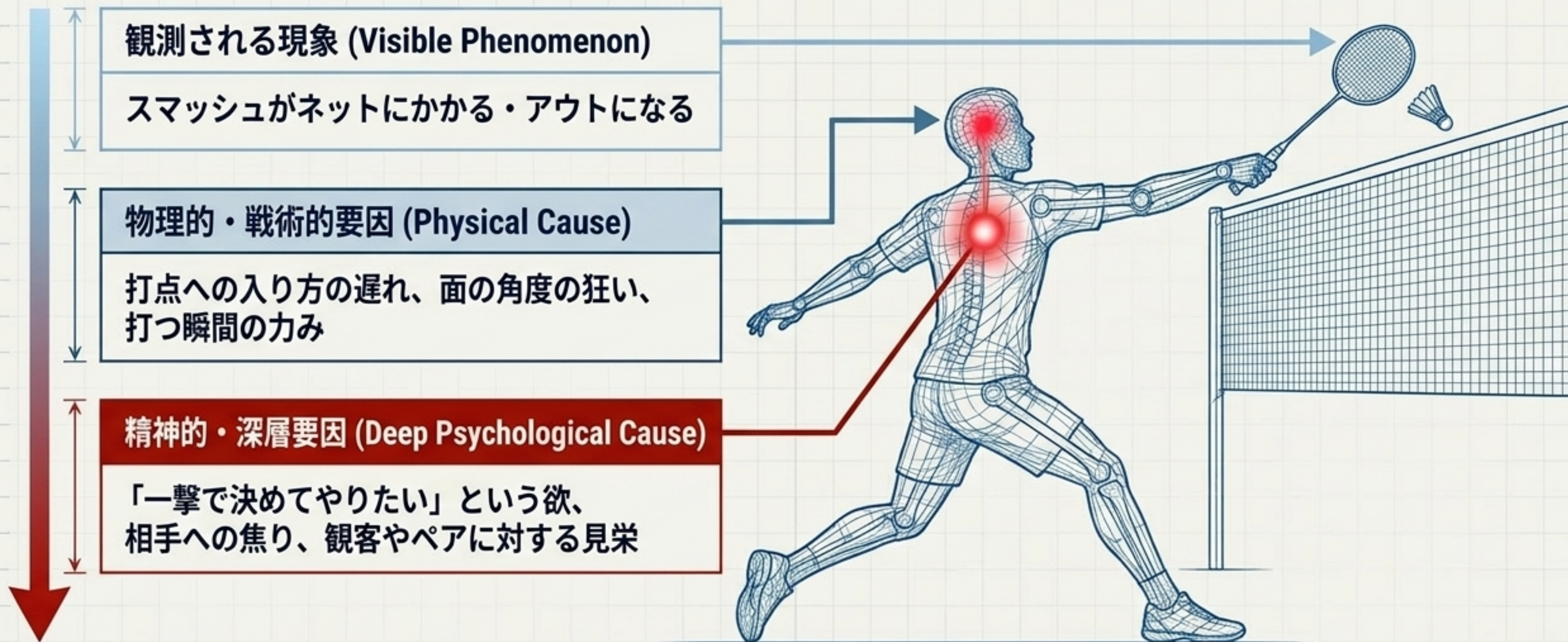
再設計 - Redesign



【構造の変更】

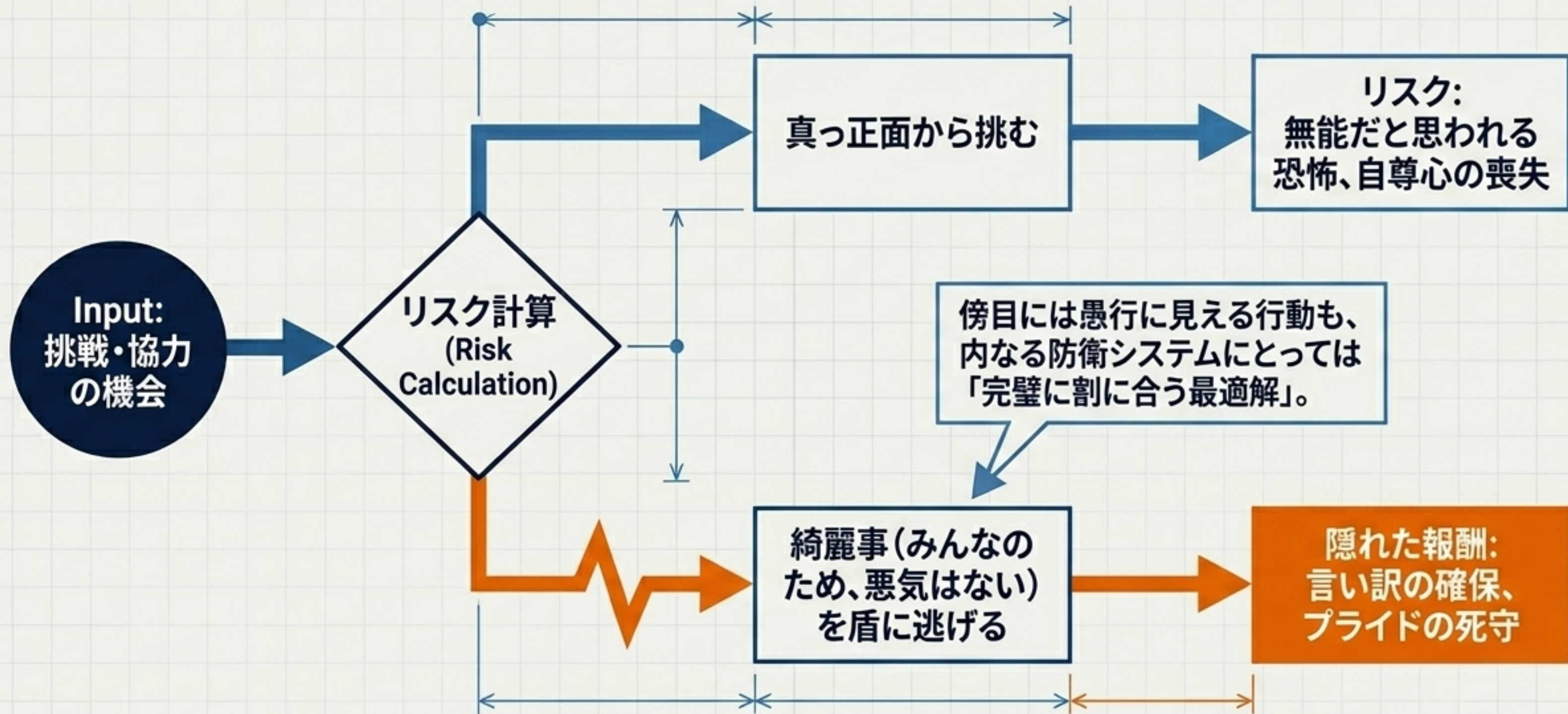
真相心理のメカニズムそのものを書き換える。反省している「雰囲気」を利用した構造変更の先送りをやめる。

Anatomy of a Phenomenon: バドミントンに学ぶ因果関係



現象だけを直そうとする人は、原因に戻れない。原因に戻れない人は、生涯同じ現象を繰り返す。

The Core Engine: 自分の中の「醜い合理性」を直視せよ



System Override Protocol: 自分を丸裸にする自己解析

> INITIALIZING SELF-AUDIT...

> [PROMPT 01: 報酬の特定]

自分がつい繰り返してしまう「直したい癖」によって、実は守られている自尊心や、得られている短期的な安心感は何だろうか？

> [PROMPT 02: 恐怖の告白]

もしその行動を完全にやめて真っ正面から他者と協力した場合、自分のどんな「未熟さ」や「無力さ」が暴かれてしまうと恐れているのだろうか？

> [PROMPT 03: 構造の破壊]

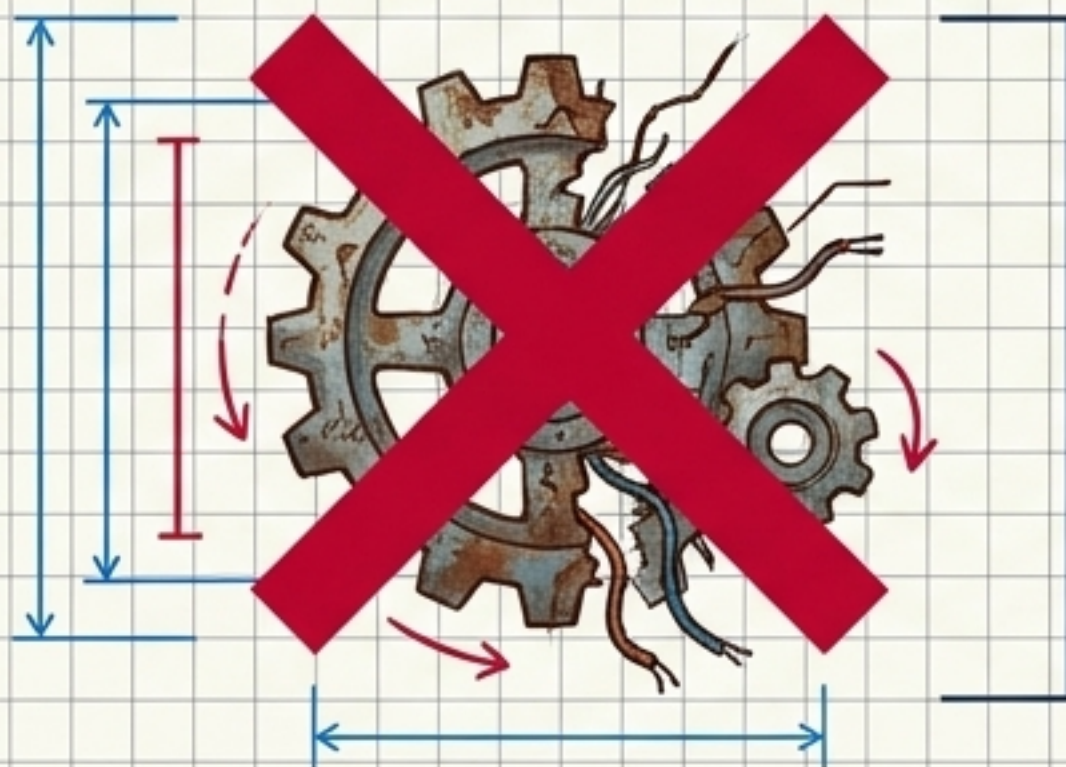
「変わりたい」と言いながら変わらないままでの最大のメリットを、私はどのように手放すか？

> AWAITING USER INPUT █

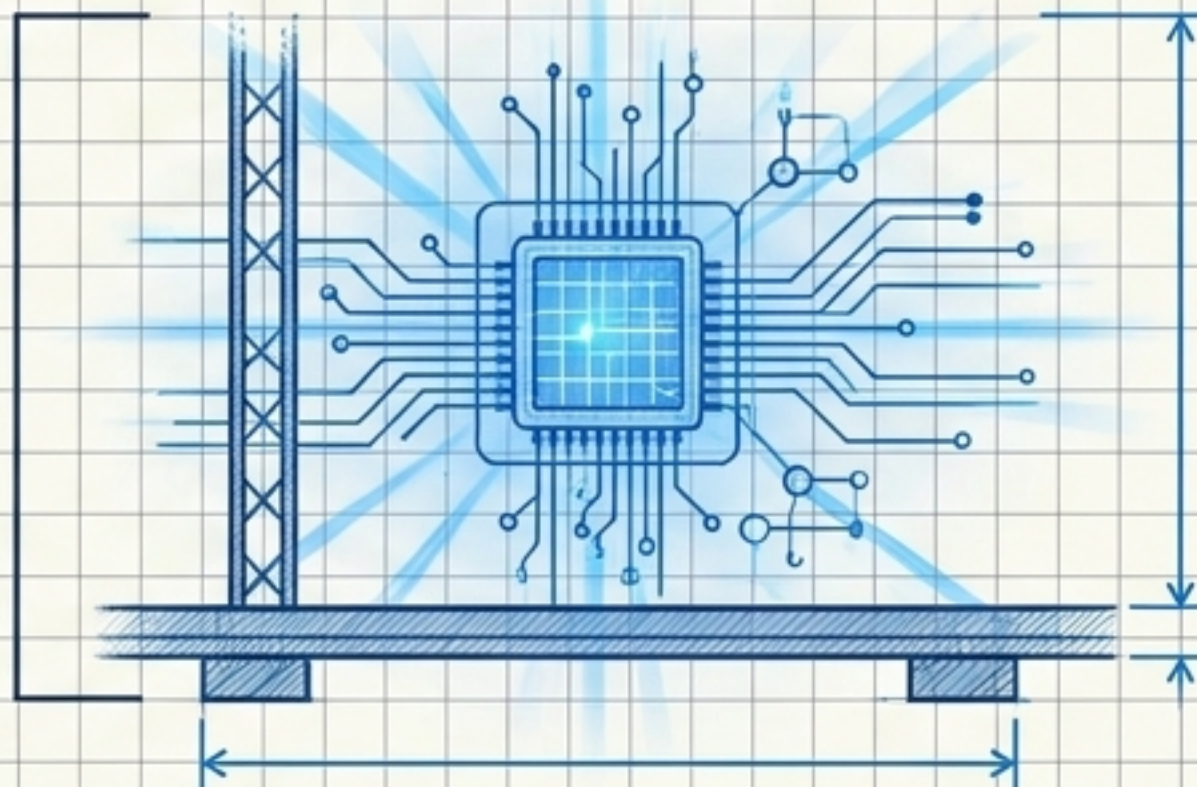
The Redesign Principle: 禁止ではなく「別の安全」の構築

心に「マウンティングするな」「逃げるな」と説教をするのは今すぐやめましょう。心がその愚かな防衛反応を選ばなくても済むように、認知のシステムを根本からアップデートするのです。

古い行動による短期的な報酬



別の行動による『より高い報酬』



変われないのではない。
変わらないことで得ている甘い蜜を手放したくないだけだ。

System Update: 心理インフラの再構築

Old OS (V1.0)

New Infrastructure (V2.0)

マウンティングで
安心していただけ
た人

相手を叩き落として相対的に
自分の位置を確かめる。

「相手を下げなくても自分の価値は
微塵も減らない」という自己評価の
安定構造をインフラとする。

単独行動・出し抜きに
走っていた人

手柄を独占する刹那的な
快感に依存する。

「情報を開示し協力した方が、圧倒
的に大きな成果と長期的信頼が返
返ってくる」と脳に覚え込ませる。

後ろに隠れて
身を守っていた人

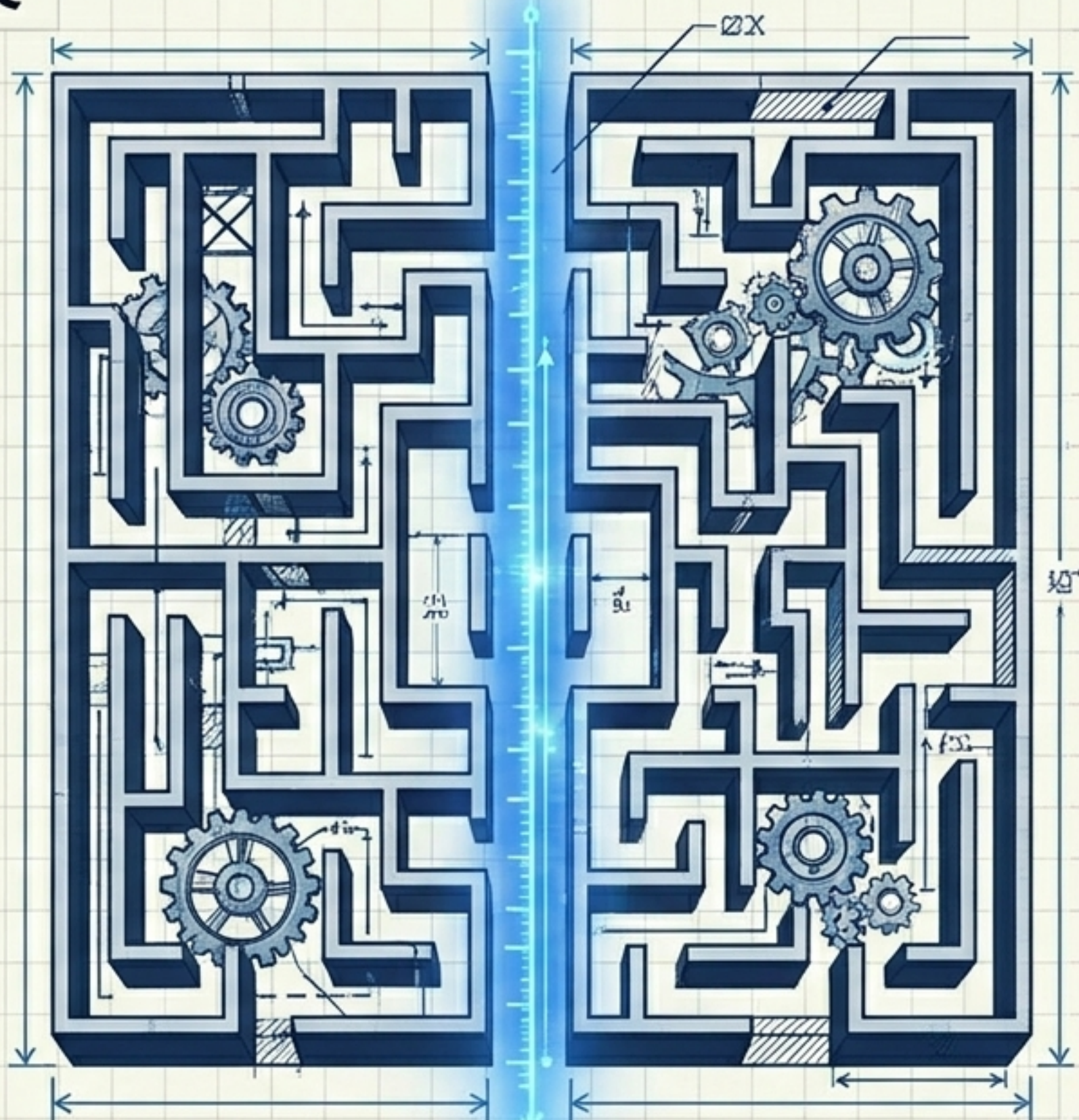
人格否定を恐れ、
挑戦を回避する。

失敗を「最速で実力を育てるための
極上データ」として処理する技術を
身につける。

Synthesis: 大いなる嘘と、不都合すぎる真実

「変わりたいのに変われない」というのは、大いなる嘘です。私たちの精緻な脳は、「変わらないことによる果実（責任の回避、プライドの死守）」を極めて合理的に貪り続けているにすぎません。

この『醜い合理性』という矛盾を直視し、自らの意思でシステムを組み替える。その覚悟を持った瞬間、私たちは限界を超えて未知の領域へ飛躍できます。



Concluding



**都合のいい鏡を叩き割り、
あなたの心を真に再設計しにいきましょう。**

